

# 病院だより VOL.47

〒336-0931埼玉県さいたま市緑区原山3-15-31 TEL.048-882-2867  
FAX.048-882-2887 <http://www.kyosai-hosp.or.jp/>

## 『患者様に寄り添った医療の提供』



『心と体を動かして豊かな人生を送りましょう』 理事長 本松茂

暑かった夏もようやく終わり、いい季節になりました。皆さんは体を動かしていますか？コロナのために家から出ることをためらいがちですが、度が過ぎると、寝たきりの入り口である“フレイル”になってしまいます。外来に来られる高齢者のなかには、すでに体力が落ちて、衰弱している方も見受けられます。第7波も収束しはじめた今、積極的に体を動かしましょう。走ったりバーベルを持ち上げる必要はありません。高齢者にはウォーキングが適しています。少し体力がついてきたら、ウォーキングの途中で歩道橋に昇るなど、強度を高めることも大事です。

そして、運動と同じくらい大切なのが感動です。年を取ってくるとなかなか感動しなくなりますし、さらには喜怒哀楽のうち、“怒”と“哀”の感情が前面に出て、“喜”や“楽”のようにプラスの感情が老いを遠ざけてくれるように思います。

人間、大きな事柄には感動しますが、そんな大きなことはまず起こりません。身の回りの小さな事にも感動できる感受性が重要です。ウォーキングでは地面や前ばかり見ないで、高い空を見上げて深呼吸したり、道端お花に足を止めましょう。今まで気づかなかった、ちょっとしたことに心が動くことができるはずです。

豊かな人生を送るうえで大切な、“運動”と“感動”を楽しんでお過ごしください。



## 『患者様に寄り添った医療の提供』



### 外科医師 小櫃保

外科が担当する治療は、「手術」だけでなく、抗菌薬などで治療を行う「保存的治療」や、がんの終末期に行う「緩和医療」まで多岐に渡ります。日常診療では、「手術」よりも手術以外のこと、とりわけ治療方針の決定に労力を要することが多いです。

例えば、急性虫垂炎を例にとります。腹痛で診察・検査を受け急性虫垂炎と診断された場合、「緊急手術」を第一に考えます。虫垂炎が進行しすぎていると広範囲の腸管を切除しなければいけなくなるため、あえて「保存的加療」を先行してさせます。また、持病などの合併症がある場合、「手術」自体が困難になります。その場合も「保存的加療」を選択し、合併症をコントロールしてからの「手術」を検討します。また、手術自体が可能であっても、「急に入院はできない」場合には、外来で連日点滴を行い、急場をしのごともあります。

このように虫垂炎一つとっても治療方針は様々あり、持病や全身状態、患者さんの希望・都合に極力合わせて、治療をカスタマイズしていく必要があります。一般的に最善の治療方針を説明したうえで、患者さんの事情を考慮し、患者さんにとってベストな治療と一緒に考えながら日々の診療にあたっています。

## 『入退院のサポート』

### 看護部 入退院支援委員会

退院する患者様の中には、「自宅に帰っても大丈夫だろうか、もう少し入院を継続した方がいいのではないか？」といった不安を感じている方がいます。特にご高齢の方が退院される場合は、退院後の生活に対して不安を感じることも少なくありません。

病院は治療の場でもあるため、病気に対しての治療が主となります。治療が終了となった場合、退院となりますが、必ずしも入院前と同じ状態になることを意味するわけではありません。その為、入院中できる限り、入院前の日常生活動作のレベルを維持できるように看護師は関わりますが、残念ながらレベルがさがってしまうこともあります。

そのため、入院から退院、在宅復帰へと切れ目のないサービス提供が行われるように支援することが求められています。入退院支援委員会では、退院後にご本人やご家族が安心して生活ができるように、入院した時点から退院後の療養生活を視野に入れ支援できるよう情報共有に努め、取り組んでいます。

当院では退院後にご家族の負担が多くなることが予想される患者様の場合、ケアマネージャーや包括支援センター、訪問看護師、訪問診療の医師等の協力を得て、退院前カンファレンスやリハビリ見学を行っています。また、患者支援室の職員、社会福祉士、入退院支援委員等で連携をはかり医療と介護の切れ目ないサポートを目指し、患者様やご家族に寄り添いながら退院支援をしていきたいと考えています。





# 病院薬剤師として

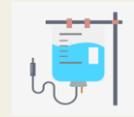


## 多職多様な専門職と連携し、薬の専門家として 患者さん一人ひとりに寄り添う病院薬剤師

病院薬剤師は患者さんに必要な薬剤を必要なタイミングで安全に提供できるよう医薬品の適正管理に努めます。また病棟での入院患者さんへの服薬指導、入院時に患者さんが服薬しているお薬(持参薬)の管理、薬剤管理指導も重要な業務です。

### ◇内服薬・外用薬・注射調剤

入院患者さんの内服薬・外用薬の調剤や注射薬を取りそろえます。注射薬は薬剤の用法、用量、配合変化、投与時間などの確認を行い患者さんごとに注射セットをします。



### ◇がん化学療法

安全キャビネットを使用し、無菌的に抗がん剤調整やコロナワクチンの調整を行っています



## 入院患者さんに寄り添って

### ◇薬剤管理指導

病棟に行って、入院中の患者さんのお薬の服薬状況などをお聞きます。患者さんに適切な薬物療法が実施されているかを評価し、必要に応じて医師や看護師へ提案します



### ◇配薬管理

当院では全病棟内服薬は全て一包化調剤を行い、1週間分の内服薬を配薬カートにセットします。



## 薬局長から



## 他職種とともに

栄養サポートチーム(NST)、骨粗鬆症リエゾンチーム、褥瘡チームなどにかかわり、薬剤師が専門性をもって活動に取り組んでいます



患者に寄り添う医療の提供を目指します。

受付時間: 8:45~11:30  
13:00~17:00  
診療時間: 9:00~12:00  
13:30~17:30

予約時間(変更も含む)  
14:00~17:00

# 共済病院外来担当医表

令和4年11月1日

Internal medicine		月	火	水	木	金	土
総合診療科	A M	—	山下	末田	石井	●吉原	—
	P M	【予約診】大和	山下	末田	石井 【予約診】大和	●吉原 【予約診】大和	—
内科	A M	八坂/吉村	【予約診】本松 9:30~	【予約診】本松	—	—	※交代制
	P M	小島	【予約診】石井	—	—	【予約診】●布施	—
消化器	A M	【予約診】石田	—	—	—	【予約診】石田	—
	P M	—	—	—	—	【予約診】田代 (第1,第2)	—
呼吸器	A M	—	—	—	—	—	—
	P M	—	小森	—	—	—	—
糖尿病	A M	—	【予約診】加園	—	—	—	【予約診】生井 ※再診のみ
	P M	—	【予約診】加園	—	—	【予約診】加園	—
循環器	A M	大久保	—	木葉	【予約診】荒尾	—	—
	P M	大久保	—	木葉	【予約診】荒尾	—	—
神経内科	A M	—	—	—	—	土佐(第2,4)	—
禁煙外来	P M	—	—	【予約診】●布施 (16時~)	—	—	—

※総合診療科は、内科的疾患を総合的に診療することを目的とした診療科です。

※交代制:非常勤医師

Surgery		月	火	水	木	金	土	
外科	外科一般	A M	小櫃	前田(晋)	小櫃	星野 9:30~	—	—
		【予約診】小櫃	【予約診】前田 (晋)	【予約診】星野 9:30~	【予約診】星野 9:30~	【予約診】星野 9:30~	【予約診】星野(第1,3) 【予約診】小櫃(第2,4)	
	P M	小櫃 13:30~15:00 【予約診】小櫃~15:00 【予約診】星野15:00~	手術	【予約診】星野 15:00~	小櫃 15:30~ 【予約診】小櫃15:30~ 【予約診】星野15:00~	—	【予約診】星野	—
乳腺外科	A M	—	—	—	—	—	【予約診】蓬原 (第2,4)	

※土曜日午前、予約診療のみとさせていただきます。

Orthopedics		月	火	水	木	金	土
整形外科	A M	遠藤	伊志嶺 前田	当番医	前田 遠藤	伊志嶺	※交代制
	P M	—	—	—	【完全予約】遠藤 (第2,4)15:00~	—	—

※初診の方は午前診察のみとなります

※木曜日の午後診察は完全予約制となります

※交代制 第1...笹沼、前田 第2...飯島 第3...遠藤、山田 第4...伊志嶺、飯島 第5...当番医

☆飯島/スポーツ・肩・肘・一般

☆笹沼/スポーツ・膝・肩・一般

Gynecology		月	火	水	木	金	土
婦人科	A M	【予約診】●布施 9:30~	—	近澤	【予約診】本松 9:30~	【予約診】●布施 9:30~	—

※「●」は女性医師となります

※内科は基本的に高校生以上の診察となります(外科・婦人科はお問い合わせ下さい)

医療法人 博仁会 共済病院  
☎ 048-882-2867 (代)

病院だよりweb版をご覧くださいありがとうございます。

